

＜東洋大学社会貢献センター 様＞

上映日：2023/11/18(土) 場所：東洋大学白山キャンパス井上円了ホール(東京都文京区)



年齢や性別に関わらず、是非多くの方々に見ていただきたい映画です。

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

社会貢献センターでは通常の公開講座に加えて年に一度、映画上映などの大型企画を実施しています。以前にケアニンシリーズの映画を上映した際にもたくさんの反響をいただきました。認知症は、一般的には高齢者に多い病気と思われがちですが、家族としての振る舞いや若い世代でもなる病気であることを理解し、"自分ごと"として考える機会に繋がればと思い上映会を開催しました。

●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

主催：東洋大学社会貢献センター
コーディネーター：福祉社会デザイン学部社会福祉学科准教授 八木裕子

●資金はどのように捻出しましたか？

公開講座の予算から支出しました。

●地域の方や関係者にどのように告知をしましたか？

本学ホームページへの掲載およびメルマガなどで周知しました。

●上映会当日の様子や、上映会開催の感想を教えてください。

認知症になり何もできなくなるのではなく、本人ができることを尊重し奪わないこと、必要な時に手を差し伸べることの大切さを学んだなど、認知症についての考えがガラッと変わったというご意見を多くいただきました。また人々の優しさや暖かさの大切さを感じたなどのお声も多くいただきました。

社会福祉を学んでいる学生も多く参加しており、とても良い機会になりました。

多くの方に映画オレンジランプと認知症について知っていただく機会を設けることができよかったと思います。

●上映会を開催してみて、いかがでしたか？

当日は学生から大人まで幅広い年代の方々に参加されました。映画上映後に山国様との対談も実施させていただきましたが、時間内に回答できない程のご質問や感想を来場者からいただき、多くの方の心に響いていることを実感しました。

